

いよいよ第3学期のスタート！

人手不足に伴う働き方の見直しで、飲食業やコンビニ等で元日を休業したり、年末年始の営業時間を短縮したりする動きが広がっていました。県内の初売りをしているショッピングセンターでも「従業員に家族とゆっくり過ごしてほしい」と同様の取組も見られ始めました。皆さんはどう感じられましたか。

さて、8日（水）にほとんどの学校で**第3学期の始業式**が実施され、全ての学校で児童生徒の活気ある声に戻ってきたことと思います。

いよいよ**総仕上げ**の学期、また**進路実現**を図る重要な学期のスタートです。各学校では、2学期の反省を踏まえ、3学期の取り組むべき方策を明確にして、実践に努めてください。



健康面では、**インフルエンザの感染**に関して、警報レベルにはいかないものの少しずつ流行ってきています。感染予防及び感染拡大防止のため、外出後の手洗いうがいなどを心掛け、症状のある方は早めに医療機関を受診しましょう。

また、先生方においては、休業中にしっかりと休養を取ることができたでしょうか。今後も、積極的にリラックスの時間を取ることに努めてください。

【 人事のスタート 】

9日（木）、地方局において**管内教育長会議**を開催し、各市町等教育委員会の教育長様、課長様等に参加いただきました。これから進めていく人事異動に関する共通理解を図り、計画を確認していきました。

今後は、市町等教育委員会としっかり連携を図りながら、人事異動協議を進めていきたいと思えます。いよいよ本格的な人事のスタートです。

また、現在それぞれの市町において人事異動に係る校長面接を実施しています。次年度に向けた学校経営方針や教職員の状況について貴重な情報をいただいています。それらを人事業務の参考にしていきたいと考えています。

さて、南予管内では、児童生徒数の減少に伴い、学級数、定数ともに減少傾向が続いています。現時点では、昨年10月1日現在の児童生徒数で学級数や定数を算定していますが、今後は2月1日時点の児童生徒数によって人事を進めていく



こととなります。そのため、**児童生徒数の増減**によって**学級数や定数の増減**の可能性の高い学校については、市町等教育委員会や教育事務所への連絡を速やかに行うことをお願いします。

さらに、**在籍数が1人の特別支援学級**においては、在籍数が0人となった際の教員配置に大きく影響を及ぼすこととなりますので、児童生徒の動向に常に留意してください。

【休業後の学校運営の見直し】

「見取り」ができていますでしょうか？

冬休み明けの児童生徒の状況の把握と支援、安全管理、教職員のサービスの徹底等に努めていただいていることと思います。

各学校から「冬季休業中（前後を含む）における学校経営について」の報告が、届きました。**気になる点は、計画の段階の学校経営のみの報告が多く、「その取組の結果どうであったか」という「見取り」の報告がない学校が多かったという点**です。今後は、「**休業後の指導**」を重視して報告していただきたいと思います。

以下、内容の一部を紹介します。

【学習面】

- ・ 先進地視察の報告を基に、校内研修で教職員の指導力向上に努めた。
- ・ 振り返りテスト、県学力診断調査等で低正答率の問題を分析した。
- ・ 個人懇談で、個に応じた家庭学習について、保護者に説明を行った
- ・ **冬季休業後は、提出された課題や教育相談により、休業中の生活・学習状況を把握し、事後指導を行い、反省を3学期に生かすよう指導した。**



【生徒指導面】

- ・ 冬季休業前に、全体指導・学級指導を通して、SNSの利用方法を中心に「冬休みのくらし」について徹底した。必要に応じて電話連絡や家庭訪問を行い情報交換を密にした。
- ・ SNSの利用等に関しては実態調査を行い、トラブル防止のための家庭との連携・協力についての相互の意識を高めた。
- ・ 町内の駅周辺、コンビニエンスストア、公園等の適時巡回と住民から情報収集を行った。
- ・ 保護者や学校関係者評価委員、地域からの情報を今後の指導に生かした。
- ・ 市対策委員会の提言「スマホやゲーム機等の利用方法」の反省を行った。
- ・ 「運動部活動の運営ガイド」の活用により、適切な部活動指導や休養日の実施を行った。



【教職員のサービス関係】

- ・ 「綱紀の保持及びサービス規律の確保について」「不祥事防止のためのチェックリスト」を活用し、サービス規律の徹底を図った。
- ・ 交通安全推進協議会を持ち、ヒヤリ・ハット経験の具体的事例を出し合っ
て研修を行った。
- ・ 会計諸帳簿の点検を行い、取扱状況について確認した。
- ・ 働き方改革を推進するため、NO部活デー・NO残業デーを積極的に導入した。

「見取り」をしっかりと行い、反省点を生かしていきましょう。